

都市住民との交流など地元の活性化につながった農村環境保全活動

はやかわ おだわらし
早川の自然を楽しむ会（神奈川県小田原市）

- 本地区は、豊臣秀吉が小田原城攻めで築造した一夜城に隣接し、この歴史的資源を活用した都市住民との交流活動を通じて地域の活性化を目指しており、毎年2回の遊休農地を活用した花摘み体験のイベントを中心に農道沿いの植栽（ツツジ、サツキ、桜など）といった四季折々の花をテーマに農村環境の改善に取り組む。
- また、県内有数のみかんの産地として知られる本地区の農業を次世代に残していくため、柑橘類の生産基盤となる農道の管理を中心とした農地維持や資源向上（共同活動）を実施する。

【地区概要】

- ・取組面積 45ha（畑 45ha）
- ・資源量 農道 17.5km
- ・主な構成員 農業者、非農業者
（土地改良区、JA青壮年部、
早川活性化推進協議会）
- ・交付金 約1百万円（H29）
（農地維持支払
資源向上支払（共同））

地域の現状



- 主要作物: 通年栽培
早生、普通温州(藤中、青島、大津)、晩柑類
(湘南ゴールド、デコボン、夏みかん) 及び花
卉、植木の栽培
- 柑橘の生産が年間を通して盛んな地域で
あるが、海辺の集落から急傾斜の続く樹園地
へ通作道が何本もあり、農道役員を置き、集
落の共同作業で草刈りや豪雨後の点検など
の維持活動を実施
- 事業導入以前は、維持管理費用は、すべ
て農家の自費

取組内容



- 農道や樹園地法面の点検を実施し、草刈り
や清掃などの適正管理を実施
- 異常気象時の見回りを実施し、農地や農道
の応急措置などを実施
- 都市住民との交流会を通して、地域の活性
化の推進と農業農村の有する多面的機能の
理解促進活動を実施

効果、課題、今後の展開

- 平成19年度から本事業に取り組んでおり、
活動の進展にあわせ取組面積を拡充

H19	H25	H28
28ha	35ha	45ha

遊休農地の発生抑制面積が6割増加

- 土地改良区、JA青壮年部、地元で組織す
る早川活性化推進協議会と連携



- 遊休農地を活用した農村環境保全活動に
て、コスモスやポピーの摘み取り等を実施し、
都市住民との交流を図り、地元の活性化を推
進



(10, 3月開催、約2,000人來訪)

遊休農地を活用した観光・都市農村交流